

## 生命環境化学グローバル教育研究拠点

### (Global Education and Research Center for Bio-Environmental Chemistry)

平成22年度インターンシップ・プログラム 応募要領

「海外への短期（90日以内）留学派遣」

#### 趣 旨

本インターンシップ・プログラムは、博士課程学生を海外へ派遣することにより学生間の交流を促進することを目的とします。すなわち、博士後期課程学生を90日以内の短期間、海外研究拠点に派遣して共同研究を行わせることにより、国際性豊かな研究者として発展する契機を与えるためのプログラムであり、大学院学生の国際性への啓蒙および契機とすることを目的とします。また、本プログラムによって本学と海外との研究者間における共同研究を促し、研究者のネットワークを形成すること、すなわち、海外研究拠点の形成を推進するものであります。

#### 派遣学生の応募資格

1. 大阪大学大学院理学研究科、**基礎工学研究科**、**工学研究科**の教育研究拠点形成に参加する専攻所属の**博士後期課程**（休学を除き入学後3年まで）の学生。
2. 上記研究科の博士前期課程学生で、**派遣時に博士後期課程学生となることが確定している**者。
3. 派遣に必要な実践的英語コミュニケーション能力をもち、派遣によって国際性豊かな研究者としての将来の発展が期待できる者。

#### 応募書類

以下の項目について所定の書類を英文で作成し、派遣元研究室の指導教授からグローバルCOE事務局宛に提出してください。

1. 申請書（所定の書式を使用）[Application Form](#)  
研究計画：受け入れ先と合意した共同研究計画を具体的に記載する
2. 指導教授（派遣元）からの推薦書
3. 派遣先の受入条件・派遣元の派遣条件
4. 派遣先の受入承諾を示す交信記録

#### 募集要領

1. 派遣時期：2010/平成22年度中（2011/H23年3月31迄）に帰国すること。90日以内を標準としますが、特別な場合には、予算の範囲内で90日を超える留学も認めます。  
\* 90日を超える滞在にはビザが必要となる国がありますのでご注意下さい。
2. 派遣手続：派遣元の各研究室にて、留学のために必要な手続を行なってください。
3. 派遣経費：採択者に対しては以下の経費を支給します。  
旅費：航空運賃実費（**ディスカウント・エコノミーチケット料金**）

滞在費：日当滞在費は、1日あたり総額で6,500円程度。ただし宿舎は滞在期間等により増減額調整を行なう場合もあります。

※指導教員と相談の上、適切な海外旅行保険と学生教育研究災害保険(学研災)の加入を必ず行ってください（本人実費・その写しを出国前に事務局へ提出してください）。

出国に際しては、正式な短期留学としての手続きを各部局で行ってください。

4. 募集人数：年間で約10名程度を予定
5. 募集： 随時（但し、審査は下記の期限毎に取りまとめて行います。）
6. 受付区分：2010年2月19日（第1回目）、2010年5月6日（第2回目）、  
2010年8月1日（第3回目）、2010年11月1日（第4回目）、  
この後応募状況に応じ設定します。
7. 応募書類の提出先：  
**各派遣元の事業推進担当教授宛に提出し、事業推進担当教授から「グローバルCOE 事務局」**（[gcoe-sec@mls.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:gcoe-sec@mls.eng.osaka-u.ac.jp)）宛に申請書（PDF）を送信してください。メールのタイトルは「**GCOEインターンシップ（派遣）**」と表記してください。

## 審査

応募者の審査は、グローバルCOE拠点代表者の下に設置するインターンシップ・プログラムWGにより行われます。

## プログラム参加者の義務

1. 派遣期間終了後1ヶ月以内に、本プログラム参加を通じて行った共同研究に関する簡単な報告書を提出してください。（本拠点のホームページや発行する冊子、および政府に提出する本プログラムの実績報告書に掲載される可能性があります。）
2. インターンシップ（短期留学）は、共同研究の成果も求められますので、帰国後にできるだけ論文として投稿していただくことが望まれます。

## その他の注意事項

応募に先立って派遣元および海外の派遣先の責任者と情報交換を密にし、以下の点を明瞭にさせておいてください。

1. 博士後期課程の一環として「海外への留学を体験することにより、国際性豊かな研究者として成長するための契機を得たい」という目的を先方に明確に伝えた上で、協力を仰いでください。
2. 留学先で行う研究内容を、派遣先の責任者と具体的に相談した上で、先方がどのような便宜（宿舎、実験施設、大学内施設の利用など）を図ってくれるかを事前に確認してください。
3. 渡航費、滞在費をグローバルCOE ファンドから得るための申請を行うことを先方に明確

に伝えてください。ただし、宿舎についてはドミトリーなどの提供あるいは紹介を希望する旨を明言して、先方の便宜ができるだけ得られるようにし、確認してください。

4. 派遣先での立場（身分）についても確認してください。

5. 博士後期課程の一環として留学を行うため、留学終了後は修了証（書式自由）を得たい旨を伝えてください。

グローバルCOE プログラム「生命環境化学グローバル教育研究拠点」([URL](#))

拠点代表者：福住俊一（工学研究科生命先端工学専攻・教授）

<担当：海外インターンシップ派遣・受入選考WG>

委員長：真島和志（基礎工学研究科物質創成専攻・教授）

副委員長：神戸宣明（工学研究科応用化学専攻・教授）

<お問い合わせ>

グローバルCOE プログラム 事務局（吹田キャンパス）

e-mail：[gcoe-sec@mls.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:gcoe-sec@mls.eng.osaka-u.ac.jp)

電話： 06-6879-7805

